



制作：NPO法人カラカネイトンボを守る会～あいあい自然ネットワーク～

カラカネイトンボ通信



2026年度 夏号

4月から7月までに実施した行事や活動の一部を紹介します。

★カワセミの土壁整備（4月27日）

カワセミが巣を作る土壁の整備をしました。積雪によって崩れた土砂をスコップで取り除く作業です。今年は雪解けが早く、天気の良い日が続いたこともあり、土砂が乾いて軽く、スムーズに作業を行うことができました。



★あいの里水辺散策（5月10日）

オオバナノエンレイソウやエゾエンゴサク等の春に見られる花の観察や、札幌河川事務所の方から川の治水施設の紹介をしていただきました。散策後、押し花作りや、元北海道教育大学札幌校教授の並川先生に標本についての解説をしていただきました。

★田んぼde田植え体験（5月24日）

あいの里の農家さんである柳沢さんの田んぼをお借りして、田植え体験を行いました。田植えが終わった後は餅つきを実施しました。冷えた体をつきたての餅と豚汁で温めながら、和やかな雰囲気でお終えました。



★とんぼの学校整備（6月21日）

とんぼの学校内の草刈りと、繁茂したヨシ抜き、茨戸川での生き物採集、カヌー体験を行いました。最後に焼肉を食べ、心地よい風を感じながら、和やかな雰囲気の中で終わることができました。

★湿原観察会（7月5日）

埋め立てが進む篠路福移湿原で、埋め立ての現状の視察と湿原内に残った湿原性植物の花々を観察しました。埋め立てと湿原の境界部では、残っているノハナショウブが美しい花を咲かせ、水たまりにはタヌキモも花を咲かせていました。



★ホタルの光観察会（7月18日）



イベント当日は雨が降ってしまい、野外でのホタルの観察は中止し、全て屋内でのイベントとなりました。ホタルの紙芝居やクイズの後、ホタルを入れた水槽で、ホタルが光っている様子を観察できました。

★自然体験教室 in 余市川（7月26日）

雨天のため1週間延期し、余市川でカヌー体験を行いました。この日は晴天にも恵まれ、絶好のカヌー日和となりました。生き物探しや水遊びを通して余市川の自然を満喫しました。



カラカネイトンボを守る会の活動に参加してみませんか？

イベントの詳細や参加申し込みについては、ホームページまたはFacebookをぜひご覧ください。新規入会希望、寄付等によるご協力もお待ちしております。

～会費について～

- ・正会員 ニロ（2,000円）
- ・賛助会員 一口（1,000円）
- ・団体会員 五口（5,000円）

お問い合わせ先

karakaneitotonbo@yahoo.co.jp

ホームページアドレス

<http://www.7b.biglobe.ne.jp/~karakane/>



Facebookアドレス

<https://www.facebook.com/karakaneitotonbo/>

